

ひょうごらくのうメモ



2023SEP



表紙:『ぽかぽかいい天気』南あわじ市 安田 光希さん
第40回らくのうひょうごフェスティバル絵画コンクール応募作品より

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

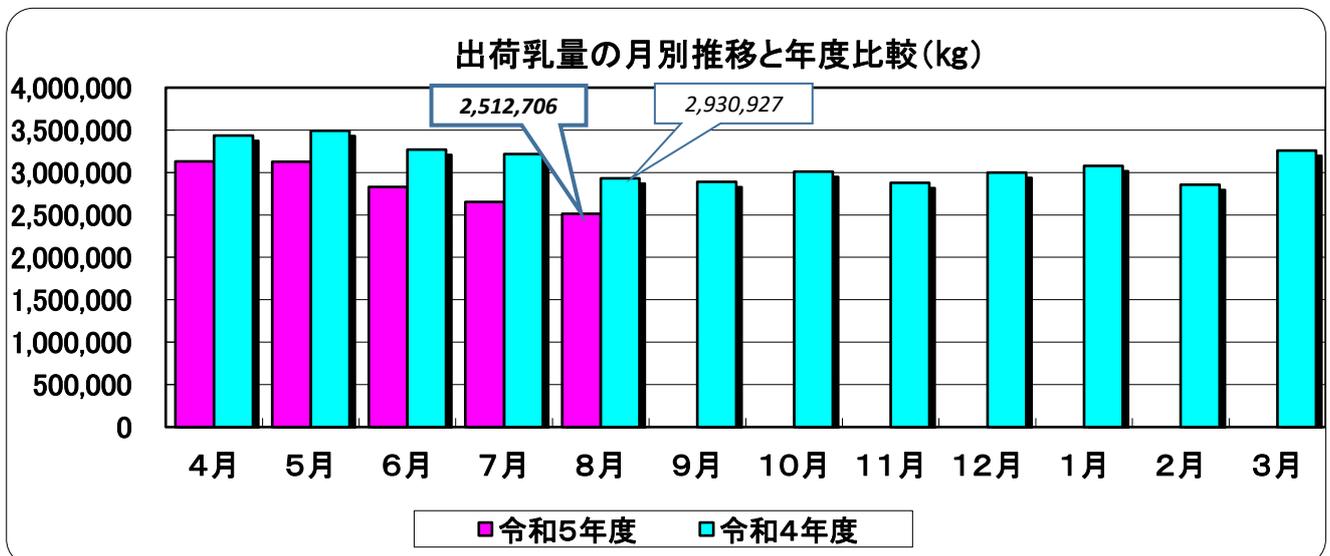
生乳生産統計

1. 全国(令和5年7月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	5年	4月	628.0	95.6
令和	5年	5月	648.9	95.6
令和	5年	6月	619.3	96.3
令和	5年	7月	616.5	95.5
令和	5年	8月		
令和	5年	9月		
令和	5年	10月		
令和	5年	11月		
令和	5年	12月		
令和	6年	1月		
令和	6年	2月		
令和	6年	3月		
令和	5年度	累計	2,512.5	95.8

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 5年8月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	
阪神地区	478,062	85.3	2,621,397	86.3	20
播州地区	324,613	62.7	1,829,777	66.5	15
丹但地区	241,426	79.4	1,411,631	85.6	14
淡路地区	1,468,605	94.8	8,389,973	94.2	82
合 計	2,512,706	85.7	14,252,778	87.2	131



調査結果

管内飼養頭数及び農家戸数の状況

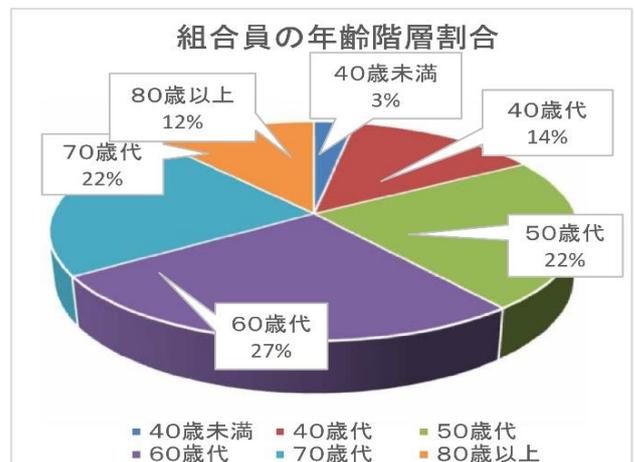
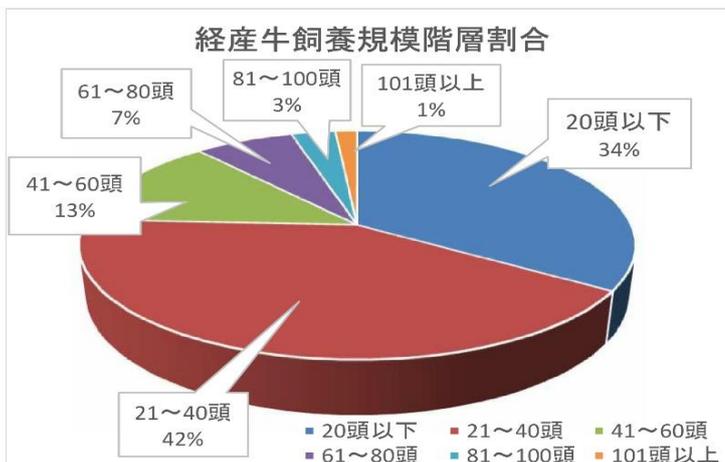
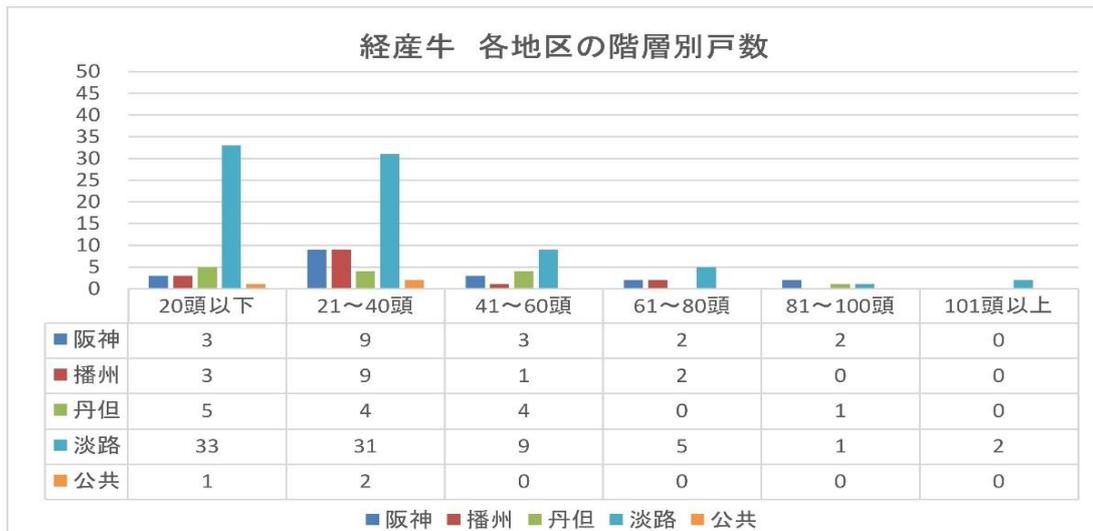
令和5年8月1日現在

飼養頭数

地区名	戸数	経産牛			未經産牛			乳用牛合計	肥育牛	総合計	
		搾乳牛	乾乳牛	小計	初妊牛	育成牛	小計				
阪神地域	19	662	122	784	120	267	387	1,171	4	1,175	
播州地域	15	446	65	511	71	150	221	732	3	735	
丹但地域	14	342	59	401	83	144	227	628	3	631	
淡路地域	81	2,042	312	2,354	407	862	1,269	3,623	8	3,631	
公共	3	58	13	71	19	39	58	129	0	129	
合計	132	3,550	571	4,121	700	1,462	2,162	6,283	18	6,301	
前回調査増減		▲ 9	▲ 418	118	▲ 300	78	▲ 260	▲ 182	▲ 482	▲ 10	▲ 492

経産牛飼養頭数階層別農家戸数

	阪神	播州	丹但	淡路	公共	合計
20頭以下	3	3	5	33	1	45
21～40頭	9	9	4	31	2	55
41～60頭	3	1	4	9	0	17
61～80頭	2	2	0	5	0	9
81～100頭	2	0	1	1	0	4
101頭以上	0	0	0	2	0	2
合計	19	15	14	81	3	132



参考情報

淡路家畜市場情報

令和5年8月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	3	156,567	199,100	130,900			53		
		前回									
		前年	11	159,000	222,200	96,800			55	-2,433	-1.5%
	オス	今回	8	165,963	213,400	106,700			61		
		前回	3	256,300	259,600	253,000			50	-90,337	-35.2%
		前年	14	169,321	266,200	37,400			58	-3,358	-2.0%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回	1	1,100	1,100	1,100			60		
		前回									
		前年									
	オス	今回	2	19,800	38,500	1,100			58		
		前回									
		前年	5	50,820	64,900	30,800			55	-31,020	-61.0%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前は令和5年7月第4金曜日・前年は令和4年8月第2金曜日

令和5年8月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	9	90,444	160,600	35,200			54		
		前回	3	156,567	199,100	130,900			53	-66,123	-42.2%
		前年	17	91,429	185,900	25,300			59	-985	-1.1%
	オス	今回	13	135,977	211,200	3,300			55		
		前回	8	165,963	213,400	106,700			61	-29,986	-18.1%
		前年	16	119,625	246,400	5,500			56	16,352	13.7%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回	1	1,100	1,100	1,100			60	-1,100	-100.0%
		前年	1	1,100	1,100	1,100			55	-1,100	-100.0%
	オス	今回	3	28,967	30,800	27,500			56		
		前回	2	19,800	38,500	1,100			58	9,167	46.3%
		前年	4	10,450	16,500	5,500			55	18,517	177.2%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前は令和5年8月第2金曜日・前年は令和4年8月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
4	1	60,274	73	86,602	118	96,842	26	84,852	7,917
	2	78,917	74	84,541	76	82,622	27	99,587	7,368
	3	89,551	78	93,886	134	84,111	28	104,430	8,775
	4	96,634	73	98,901	78	93,317	18	101,788	7,440
	5	112,322	54	111,763	78	99,245	18	123,317	6,324
	6	122,177	71	111,003	68	119,460	10	117,640	7,227
	7	95,057	53	104,775	56	85,663	8	74,406	7,599
	8	45,824	76	66,689	75	30,158	12	31,436	7,762
	9	25,075	83	22,432	102	17,417	12	15,575	6,428
	10	16,210	91	21,039	87	9,477	26	20,611	6,131
	11	18,362	78	20,287	97	8,250	22	26,558	6,750
	12	14,582	74	21,227	91	10,159	17	22,961	5,900
5	1	15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
	2	15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
	3	32,237	49	30,240	53	10,633	12	51,012	6,592
	4	34,608	39	43,205	90	47,594	15	58,915	5,810
	5	65,572	36	67,518	79	50,008	13	69,390	6,043
	6	67,793	27	74,466	79	59,620	5	76,121	6,049
	7	52,833	33	60,202	74	11,000	1	64,051	5,771
	8	31,746	57	28,792	138	取引なし		38,962	6,771
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
4	1	156,690	554	134,664	365	200,007	194	150,928	14,421
	2	154,568	511	135,321	311	173,563	172	163,424	13,270
	3	173,935	563	159,393	369	183,812	206	175,588	15,423
	4	181,317	559	179,829	287	212,539	189	178,697	13,776
	5	209,912	449	203,328	263	235,953	151	190,858	12,825
	6	238,145	353	221,190	368	220,208	143	187,300	12,975
	7	204,151	331	188,185	287	226,511	112	157,593	13,177
	8	156,707	560	151,410	271	196,618	121	100,500	15,237
	9	124,209	554	110,885	393	148,069	153	88,395	15,808
	10	129,255	531	106,490	278	161,723	143	91,131	15,097
	11	114,617	706	98,855	296	169,113	153	93,840	16,644
	12	114,802	588	106,584	332	166,884	181	86,297	15,782
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3	123,802	587	117,235	331	158,154	197	102,795	15,544
	4	157,892	531	138,296	315	195,491	203	111,958	14,394
	5	188,398	436	177,927	221	219,636	127	123,340	14,179
	6	204,456	298	202,847	271	250,721	111	139,965	13,253
	7	190,503	353	184,677	242	239,165	97	128,267	13,148
	8	131,660	527	123,996	394	152,514	74	86,471	16,037
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和5年8月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（牝・牝系・他）				初妊牛（牝・牝系・他）				経産牛（牝・牝系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
豊 富	8/4					239	660	242	381	7	267	184	238
十 勝	8/7					712	853	110	435	86	497	91	284
十 勝	8/10	386	321	1	187								
北海道	8/18	33	267	23	191	56	607	311	470	4	344	220	254
釧 路	8/22					319	708	242	421	2	352	288	320
北 見	8/23					278	680	220	393	5	454	213	280
根 室	8/24					468	642	165	426				
北 見	8/28	342	304	1	178	2	301	165	233				
合 計	8回	761	321	1	183	2,074	853	110	420	104	497	91	280
前年同月成績	8回	616	388	3	232	2,047	1,135	110	516	122	598	54	277
前月合計成績	8回	557	395	4	206	1,948	854	198	444	169	513	110	279

ホクレン乳牛市場開催日程

9月1日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成	10月2日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成
9月8日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊 富)	10月6日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊 富)
9月11日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更)	10月10日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更)
9月14日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更) 育成	10月12日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更) 育成
9月15日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安 平)	10月13日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安 平)
9月25日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	10月16日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
9月26日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更)	10月17日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
9月27日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	10月23日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
9月28日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	10月24日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更)
9月29日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間) 育成	10月26日(木)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊 富) 育成
			10月27日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間) 育成

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所 (問合せ先)

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和5年9月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横這い	札幌管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で93.0%、累計で96.4%、苫小牧管内月計で90.2%、累計で92.9%の実績となっております。
	初妊牛	4.3~5.3	横這い	9月の初妊牛動向といたしまして、11月下旬~12月中旬分岐が中心となります。資源状況は豊富であり相場は前月並みの価格で推移するものと思われれます。腹別では、F1腹の出回りが多くなっている傾向があり、雌雄選別腹は減少傾向にあります。優良牛や高能力な牛が揃う地域ですので相場が落ちているこの時期に導入をお勧めいたします。
	経産牛	3.5~4.5	横這い	根釧管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で95.5%、累計で95.3%、中標津管内月計で94.5%、累計で95.7%の実績となっております。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.0~2.5	横這い	9月の初妊牛動向といたしまして、11月下旬~12月分岐が中心となっております。猛暑での更新需要があるものと思われれますが、暑い中での輸送を嫌うことも考えられ、相場は横這いで推移すると予想されます。管内の資源状況はF1腹が豊富となっており、和牛受精卵移植極腹も増加傾向、雌雄選別腹が減少傾向にあります。育成牛、経産牛も初妊牛と合わせて横這いで推移するものと予想されます。
	初妊牛	4.0~4.8	横這い	帯広管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で93.8%、累計で94.8%の実績となっております。
	経産牛	3.2~4.2	横這い	9月の初妊牛動向といたしまして、11月下旬~12月分岐中心となり冬分岐へシフトしていきませんが、管内の資源状況は豊富であるため相場は横這いで推移するものと思われれます。腹別の価格差は無くなっておりますが、雌雄選別腹が少ないうち状況となっており、和牛受精卵移植極腹については、引き続き軟調相場で推移しており購買しやすい状況にあります。また、即戦力である経産牛については40~50万と人気があり初妊牛価格と比較すると割高感があります。育成牛も同様に横這いで推移するものと見込まれます。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横這い	道北管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で94.7%、累計で95.9%、北見管内月計で94.1%、累計で94.6%の実績となっております。
	初妊牛	4.5~5.5	横這い	9月の初妊牛動向といたしまして、11月下旬~12月中旬の分岐となっており、秋~冬分岐が中心での出回りとなります。管内市場は弱含みで推移していましたが、暑さの影響で道内でも更新が必要な牧場もあるため、需要は高くなると考えられ、横這いで推移すると予想されます。資源状況につきましてはF1腹、雌雄選別腹共に豊富にある状態となっております。経産牛につきましても横這いで推移すると見込まれます。
	経産牛	4.0~5.0	横這い	道内の8月中旬までの生乳生産量前年比は94.4%、累計で95.4%の実績となっております。道内では2番草が終わり、デントコーン収穫のシーズンに入ります。
道北管内	育成牛(10-12月令)	1.8~2.8	横這い	9月の初妊牛動向といたしまして、大きな相場の動きは考えられず前月並みの価格で推移するものと見込まれます。低調な相場が続くことで酪農家は雌資源を販売にまわさず、自家保留することも選択肢の一つとして持ち始めるため、今後の出回り頭数の動向に注意が必要です。しかしながら現状は、資源は豊富であり、腹別にF1腹、和牛受精卵移植極腹が増加傾向にあります。今後の搾乳後継牛確保のためにも、今の時期に導入することを勧め致します。猛暑の影響を引きずり更新する動きも出てくることが見込まれますので、導入予定がございましたらお早目にご注文宜しくお願いいたします。
	初妊牛	4.3~5.3	横這い	
	経産牛	2.8~3.8	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横這い	
	初妊牛	4.5~5.5	横這い	
	経産牛	3.5~4.5	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選苗購買による予想相場です。

庭先選苗購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

☎011-241-0765

《各事務所電話番号》
 釧路事務所 ☎(0154)52-1232
 根室駐在員事務所 ☎(0155)76-1877
 帯広事務所 ☎(0155)37-6051
 道北事務所 ☎(0165)42-2368

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一顧下さい。
 担当がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいたらよう購買のお手伝いを致します。
 また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

令和5年9月11日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

米国西海岸における北米西岸港湾労組(ILWU)と雇用主団体(PMA)の労使交渉は暫定合意となっていました。現地8月31日に北米西岸港湾労組側の投票において75%以上の賛成があったため正式合意となりました。

カナダ西岸港湾労組(ILWU CANADA)と雇用主団体(BCMEA)の労使交渉については7月30日に暫定合意に至っています。バンクーバー港は通常稼働となっていますが、ストライキの影響は大きく、現在も港湾の混雑が続いておりスケジュールの遅延が発生しています。

コンテナ船の状況については秋口以降、例年、農作物の出荷や米国クリスマス商戦、冬季の荒天の影響を受け船腹の逼迫やスケジュール遅延が起きやすいため、今後の動向には注視が必要です。

ビートパルプ

【米国】

23-24年産ビートは生産の遅れがあった地域を除き、8月中旬より収穫と製糖作業が各地で開始されています。8月中旬までは適度な降雨もあり生育には理想的な天候だったものの8月下旬より暑く乾燥した日が続いたため、生産量は減少する予想となっています。

産地相場については、新穀の生産を待っている段階であり、輸出向けや米国向けの需要動向に変化はなく、依然として産地相場を見極める状況が続いています。

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるコロンビアベースンの南部では3番刈の収穫作業は終了、中部から北部でも収穫作業は終盤戦を迎えています。23年産は1番刈の収穫以降、断続的な降雨もなく天候に恵まれたこともあり例年より早い収穫進捗が続いています。そのため2番刈については過乾燥なものもありますが、色目の鮮やかな品質が多く、低級品の発生は少なくなっています。3番刈についてはカナダで山火事が再び発生し、煙がコ

ロンビアベースンに流入したことで乾燥に時間が掛かり、一部の地域では降雨被害もあったことから産地全体で上級品の発生は限定的となっています。

日本向けの市場は依然として産地相場を見極める動きが続いていますが、中東向けで高成分を買付する動きがあることや1番刈の上級品を確保出来なかった輸出業者が積極的に買付を始めたこともあり今後の動向には注意が必要です。



コロンビアベースン2番刈りアルファルファ上級品（8月中旬撮影）

オレゴン州

主産地であるオレゴン州クラマスフォールズでは2番刈の収穫作業が終了しています。8月下旬から3番刈の早い圃場で収穫作業を開始していますが、降雨があったため雨あたり品が発生する見込みです。今後9月に入り収穫作業は本格化しますが、降雨の影響と収穫進捗が遅れていることから3番刈で生産を終了する圃場も多くなる予定です。2番刈の品質については、1番刈の収穫時期が例年より遅くなったことから1番刈で刈り取れなかった茎が残った圃場もあり、例年よりも色目の鮮やかな品質は限定的となっています。

同州クリスマスバレーにおいても2番刈の収穫作業は終了しています。一部の圃場では降雨被害が出ているものの、高成分の良品も発生しています。



(23年産オレゴン産2番刈アルファルファ 8月下旬撮影)

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは現在6番刈の収穫が行われています。産地では4番刈以降、成分値が低く茎が細い過乾燥気味なサマーハイ中心の発生となっています。インペリアルバレー灌漑局の発表によると、8月15日時点でのアルファルファの作付面積は136,028エーカー(前年同期は123,366エーカー)と前年同期比110%と増加しています。

ネバダ州

ネバダ州北部ウィナムッカでは現在2番刈の収穫作業が終了し、3番刈の収穫作業が9月上旬より始まる見込みです。同州は1番刈では降雨被害を受け、2番刈ではコオロギの異常発生によりアルファルファに被害が出たことから輸出向けには適さない品質が多く発生しています。

米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースン南部では2番刈の収穫が終了していますが、中部および北部では収穫作業中です。

23年産の1番刈は収穫期の不安定な天候の影響で上級品の発生は限定的となっています。23年産の価格が下落したことで不満を抱える生産農家も多く、昨年と比べて半数近くの生産農家が2番刈を行わず相場の良い豆類やとうもろこしといった換金性の優れる作物に転作を進めています。

産地相場については輸出業者によって旧穀在庫や23年産の買付進捗が異なることもあり未だに状況を見極めていく動きが続いているため、今後の動向には引き続き注

視が必要です。

スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、1番刈の収穫が終了し9月下旬には2番刈の生産を終える見込みです。

同州では8月下旬に発生したハリケーン「ヒラリー」の影響で、保管中のスタックや収穫中のスーダングラスに降雨被害が発生しました。降雨被害の全貌は見えていませんが、23年産の作付面積減少に加え、降雨被害により高温の夏時期や2番刈に多く発生する茎が太い低級品は限定的となる見通しです。日本の需要に対しては輸出業者も旧穀在庫を抱えているため供給力に懸念はありませんが、ハリケーン被害による産地相場の上昇については注視が必要です。

灌漑局の発表によると、8月15日時点での作付面積は16,022エーカー（前年同期は34,109エーカー）、前年同時期比47%となっています。



ハリケーン「ヒラリー」による降雨被害の状況

(左) 浸水したヤード

(右) 降雨被害スタック 8月下旬撮影

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、3番刈の収穫が終了し、一部の圃場では4番刈の収穫作業が開始されています。収穫された3番刈の品質は2番刈同様に色目が綺麗な良品が多く発生しています。未収穫の3番刈についてはハリケーン「ヒラリー」の降雨被害もあり、適期に刈取りを行うことができず、刈遅れの品質が多く発生する見込みです。

例年クレイングラスは5番刈まで生産されますが、23年産は価格軟化の影響を受け4番刈で生産を終了する圃場も多くなる見通しとなっています。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、8月15日時点でのクレイングラスの作付面積は21,996エーカー（前年同期19,653エーカー）となっており、前

年同時期比112%と増加しています。

バミューダ

主産地であるカルフォルニア州南部インペリアルバレーでは、3番刈の終盤を迎えています。産地では米国内の馬糧向けや韓国向けに堅調な引き合いがあることから荷動きは好調で、収穫は5番刈まで行われる見通しとなっています。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、8月15日時点の作付面積は66,693エーカー（前年同期63,968エーカー）と前年同期比104%の作付面積となっています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地であるオレゴン州ウィラメットバレーでは、23年産のストローの生産が終了しています。例年に比べ降雨が少なく土壌中の水分が不足した影響で生産量は減少しています。

カナダ産チモシー

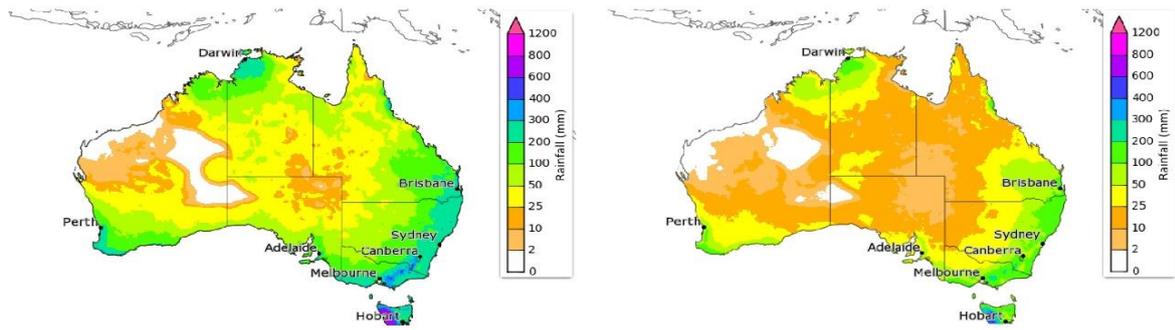
主産地であるアルバータ州南部レスブリッジ地区では、1番刈の収穫が終了し、2番刈の収穫が開始されています。現時点で相場は形成されていませんが、国内の干ばつの影響でカナダ国内の酪農家からの需要も多く、価格は堅調に推移する見込みです。

同州中部クレモナ地区では乾燥した気候が続いた影響により生育が不安定となり収穫された品質は中低級品の発生となり上級品の発生は限定的となっています。

豪州産オーツハイ

今後の天候次第では9月中旬頃からスケジュールの早い地域で収穫が開始される見通しですが、8月も豪州全域で平年より乾燥した気候が続いており、西豪州では例年の4割程度しか降雨がなく、高温かつ乾燥した気候で生育不良となっているため生産量の減少が懸念されています。

下図は豪州の気象庁による平年9月から11月の降水量と23年9月から11月の降水量予測ですが、3ヶ月を通して10mmから50mmの降水量予測の地域も多く、平年を下回る降水量になることが予想されています。



出典：The Australian Bureau of Meteorology より

(左) 平年9月-11月までの降水量

(右) 23年9月-11月までの降水量予測

以上

◆ 主な行事予定 ◆

9月

15日 西日本酪農青年女性会議三役・事務局会議
(岡山市)

21日 岩崎税理士事務所・税務監査

22日 内部管理職会議

23日 第19回南あわじ市畜産共進会(元気の森大駐車場)

27日 畜産近代化リース現地調査(淡路地域)

28日 第5回理事会(WEB)

29日 令和5年度上期棚卸監査

10月

2日 職員会議(WEB)

11日 近畿生乳販連販売委員会・理事会(WEB)

14・15日 第44回兵庫県民農林漁業祭(明石公園)

組合行事予定(ページお借りします。)

技術情報

全酪連 近畿事務所 大田篤志

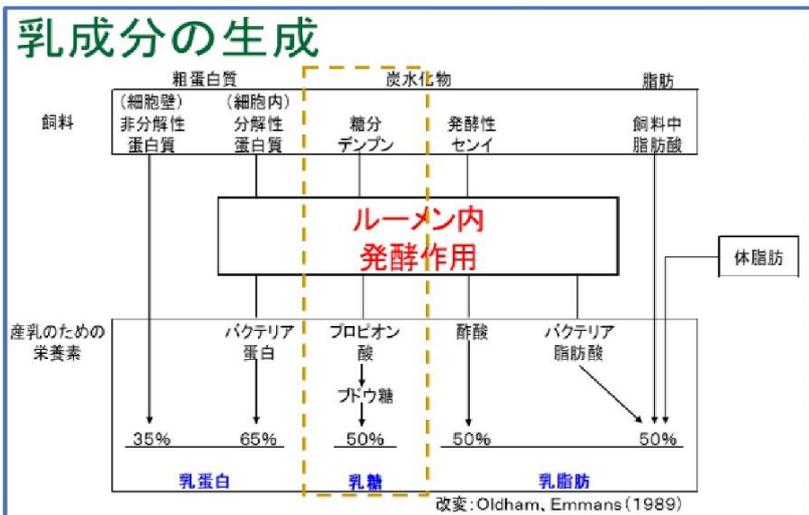
いつもお世話になっております。全酪連 近畿事務所淡路島駐在の大田です。6月から淡路の担当になり、はや3か月が経ちました。6月は玉ねぎの収穫、7月は田植え、9月はWCSの収穫と、淡路の人はずっと忙しいので、驚くばかりです。

さて、今回は乳質についてお話させていただきたいと思います。

乳質といっても大きく3種類に分けられます。

- ① 物理的乳質
比重・温度・異物混入・風味異常
- ② 衛生的乳質
生菌数・体細胞数・抗生物質
- ③ 栄養的乳質
乳脂肪・無脂固形分・ミネラル・ビタミン

これらは、全て乳牛の健康状態並びに搾乳機器の衛生管理に起因します。中でも、乳成分に関しては、日頃の飼養管理(飼料給与バランス)の影響を受けやすいため、今回は、③栄養的乳質について詳しく解説します。下図に示したような経路で、乳脂肪や乳タンパク質は合成されます。



【乳脂肪】

乳脂肪は主に乳牛のエネルギーバランスを反映します。粗飼料由来の脂肪酸(酢酸、酪酸など)から50%、飼料中の油脂から40%、体脂肪から10%で構成されていると言われています。

分娩直後では、乾物摂取量(DMI)がまだ十分増加していないのに加え、泌乳開始によるエネルギー要求量が增大するため、エネルギー不足になり、体脂肪動員(体脂肪からエネルギーを取り出す)を起こし、乳脂肪率が高くなる傾向にあります。乾乳期に過肥気味だとよりこの傾向が強まり、肝臓に大きな負担がかかり、ケトーシスのリスクを高めることとなります。

また夏場、乳脂肪率3.5%を切ってしまうこともあると思います。ホルスタインは、暑熱ストレスを受けやすいため、ルーメン発酵熱の影響を受けやすい粗飼料の摂取を制限する方向に向かいます。そうすると、選び食い・かため食いの採食行動が起こり、濃厚飼料ばかり食べると、ルーメン内が酸性に傾き、粗飼料を分解し乳脂肪のもとになる酢酸を合成する細菌が死滅し、乳脂肪率低下に陥ります。したがって、バッファー機能を持つ重曹*の給与、TMR 給与は選び食いをさせない、分離給与の場合は粗飼料を細断する、給与回数を増やすなどの対策・工夫が必要になります。また、濃厚飼料の1回の給与量は最大3kg、濃厚飼料の給与間隔は最低でも2時間は空けることを心がけていただければと思います。

*全酪連では「全酪重曹マッシュ」・「重曹ペレット」をお取り扱いしています。

【無脂固形分】

乳タンパク質、乳糖、ミネラルを足したものを無脂固形分(SNF)といいます。ミネラルはほとんど1%で一定ですので、無脂固形率の数値の変動は乳タンパク率及び乳糖率になります。

乳糖

糖・でんぷんからルーメン発酵によりプロピオン酸が生成され、肝臓でグルコースとなり、このグルコースを原料として、乳腺で乳糖が合成されます。乳糖は乳腺内のゴルジ胞の膜を通過できないため、浸透圧により細胞内の水分が入り、それが乳汁となります。また乳糖は乳生産の主要な浸透圧調整因子であるため、乳糖率はほぼ一定(4.6%前後)に保たれます。乳量は乳糖生成量に比例することも知られており、乳糖生成量が少ないと乳量を制限してしまいます。

乳タンパク質

乳タンパク質は、飼料中のタンパク量やエネルギー量に反応します。摂取エネルギーの不足時にはアミノ酸がエネルギー源として利用されるため、乳タンパク質は低下します。すなわち、タンパクとエネルギーのバランスが取れているのかを確認することが重要となります。飼料設計と実際の給与で差異が生じているという場合は、給与時間、給与回数、適切な量が給与されているかの見直しが必要だと思います。濃厚飼料1kgと思って給与していたものが、0.8kgだったなんてことは良くあることです。

以上、乳成分の変動に関する話でした。

飼料設計上では問題なくとも、給与の時間、回数、量のズレなど様々な要因が重なり乳成分として現れます。気になることがあれば、一度見直してみませんか？

兵庫県酪農業協同組合推奨銘柄として10月以降「シンデーリエース」という新配合飼料がリリースされます。現在の「デーリエース」よりCP(粗タンパク質)、TDN(可消化養分総量=エネルギーの総量)のレベルを上げ、より現在の給与体系にマッチしやすい内容にリニューアルしております。乳成分にお悩みを抱えている方は、「シンデーリエース」を上手く活用した給与プログラムをご提案させていただきます。生産性向上に繋がるようサポートさせていただきますので、お近くの全酪連スタッフまでお声かけ下さい。

保証成分

粗蛋白質	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	カルシウム	リン	TDN
16.5%以上	2.0%以上	10.0%以下	10.0%以下	0.35%以上	0.35%以上	74.0%以上

含有する飼料添加物の名称及び量

プロピオン酸カルシウム、プロピオン酸として0.08%(5月～9月使用)、ビタミンA、ビタミンD3、ビタミンE、ニコチン酸、硫酸鉄、炭酸亜鉛、硫酸マンガン、硫酸コバルト、ヨウ素酸カルシウム、エトキシキン

原材料の区分	配合割合	原材料名
穀類	52%	加熱処理とうもろこし、とうもろこし、加熱処理大麦、小麦粉、(米)
そうこう類	23%	コーングルテンファイード、ふすま、米ぬか
植物性油かす類	18%	大豆油かす、なたね油かす、(とうもろこし胚芽油かす)
その他	7%	綿実、糖蜜、炭酸カルシウム、アルファルファアミール、脂肪酸カルシウム、食塩、リン酸カルシウム

給与メニュー (例) 2産：670kg モデル ※成熟体重720kg

シン デー リー エース	25kg	30kg	35kg	40kg
エネルギーW プラス	10.0kg	12.0kg	12.5kg	14.5kg
ピートバルブ	—	—	1.0kg	1.0kg
アルファルファ	—	2.0kg	—	—
禾本科牧草	—	3.0kg	—	—
(スーダン、クレイングラスで試算)	—	7.0kg	—	—
ビタミン添加物	—	50g～70g	—	—
(淡路島ビタミックススーパー など)	—	200g～300g	—	—
重曹ペレット など	—	—	—	—

TMR 飼料へのサプリメント給与にも (例)

シン デー リー エース	25kg	30kg	35kg	40kg
発酵TMR飼料	0.5kg	1.5kg	3.5kg	5.5kg
禾本科牧草	31.0kg	31.0kg	35.0kg	35.0kg

※2産：670kg その他、上記と同条件

～給与内容は一例となります。お近くの兵庫県酪農協・全酪連スタッフまでお尋ねください～

兵庫県酪農協同組合

本所 078-976-5011

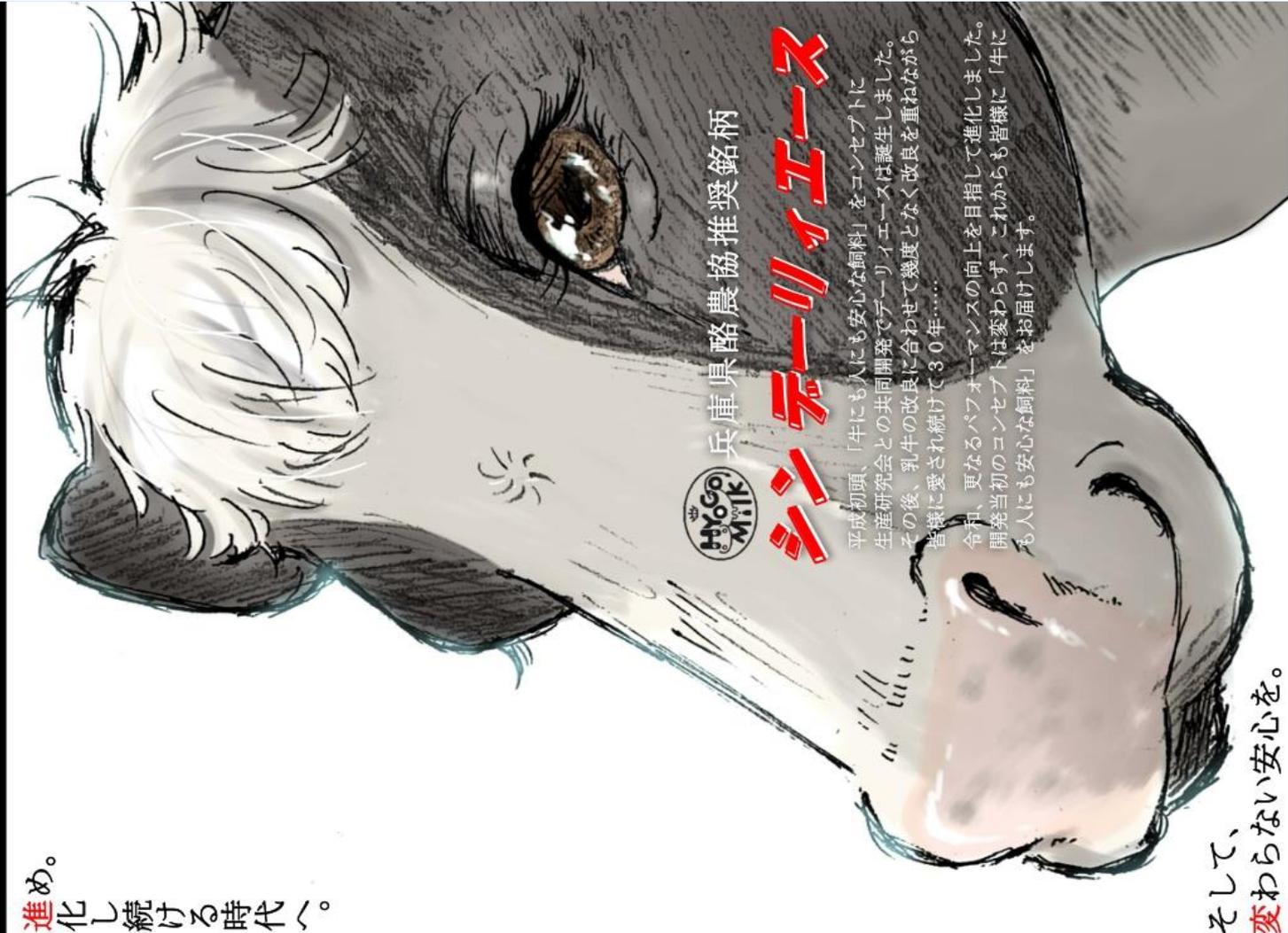
淡路事業所 0799-42-6888

全国酪農協同組合連合会(全酪連)

大阪支所 06-6305-4196

近畿事務所 0794-62-5441

淡路SP 0799-42-1330



進め。
化し続ける時代へ。

兵庫県酪農協推奨銘柄



シン デー リー エース

平成初頭、「牛にも人にも安心な飼料」をコンセプトに生産研究会との共同開発でデーリーエースは誕生しました。その後、乳牛の改良に合わせて幾度となく改良を重ねながら皆様に愛され続けて30年……

令和、更なるパフォーマンスの向上を目指して進化しました。開発当初のコンセプトは変わらず、これからも皆様に「牛にも人にも安心な飼料」をお届けします。

そして、
変わらぬ安心を。